

# いわて女性の活躍促進連携会議

## けんせつ小町部会 令和7年度 第1回会議

日時 令和7年5月20日（火）14：00～15：30

会場 エスポワールいわて 小会議室

### 次 第

1 開会

2 挨拶

3 議事

（1）令和7年度の当部会の取組内容について

（2）意見交換

4 その他

5 閉会

---

### 〈配布資料一覧〉

出席者名簿

配席図

資料1 令和7年度の当部会の取組内容について

資料2 令和7年度建設 DX 推進事業費補助金及び建設業経営力強化支援事業費  
補助金について

## 取組方向

- 働きやすい職場環境整備の取組状況を定期的に調査・確認し、「けんせつ小町部会提言書」に掲げた取組を促進していく。
- けんせつ小町部会として、建設企業で働く女性が感じていることを発信しながら、経営者や幹部職員等に対し、女性が働きやすい柔軟な働き方のできる職場環境整備への理解促進に向けた取組を継続して行う。  
また、女性活躍や意識改革等に関する研修会を継続して開催していく。
- 建設業全体で誰もが働きやすい職場環境づくりを進めていることや誇りとやりがいをもって働くことができる職業であること を高校生との意見交換会やいわて建設業みらいフォーラム等を通じ、引き続き周知・PR（イメージアップ）していく。

## 取組内容（案）

### 1 会議

- ・ 令和7年度の取組内容の決定、検証
- ・ アンケート調査の状況確認

### 2 経営者等に対する女性が働きやすい職場環境整備への理解促進に向けた取組

- (1) 現場見学会  
建設現場等の見学、意見交換等の実施
- (2) 講習会・研修会・事例発表会
  - ・ 女性活躍推進講座の実施
  - ・ 県内建設企業における取組事例の共有
- (3) 建設企業で働く女性の声を情報発信
  - ・ 県土整備部SNS等による部会活動の情報発信
  - ・ メール等の媒体を活用した情報発信
- (4) アンケート調査

### 3 建設業界で働く女性の交流促進、ネットワークづくり

- (1) あおもり建設業女性技術者ネットワーク会議との交流会
  - ・ 現場見学会、意見交換会の実施

### 4 建設業の魅力発信

- (1) いわて建設業みらいフォーラム  
ロビー展示へのブース出展による相談対応、魅力PR
- (2) 工業高校生等との交流会  
高校生との意見交換を通じた魅力PR

## 取組スケジュール

月	活動内容（予定）	
4月		
5月	会議①	
6月	現場見学会	情報発信
7月		アンケート調査
8月	女性活躍推進講座	
9月		
10月	いわて建設業みらいフォーラム	↓
11月		
12月		
1月	高校生との交流会	
2月	会議②	
3月		

※ あおもり建設業女性技術者ネットワーク会議との交流会は青森県と実施時期検討中

# 経営者等に対する女性が働きやすい職場環境整備への理解促進に向けた取組

## 現場見学会

### 目的

性別に関わらず誰もが働きやすい建設業界の実現に向けて、生産性向上や労働環境改善等に取り組んでいる先進事例を学ぶこと。

### 日時

令和7年6月6日（金） 9：10～17：30

### 場所

成瀬ダム工事現場（秋田県雄勝郡東成瀬村椿川）

### 対象・定員

（一社）岩手県建設産業団体連合会に所属する企業等の経営者、従業員等 20名程度

### 当日スケジュール（予定）

時間	内容
9：10	県庁 集合・移動
10：00	えづりこ古墳公園西駐車場 集合・移動 ※ 県南地域の企業で途中合流希望の方は乗車
11：00	休憩・昼食（道の駅 十文字）
11：50	道の駅 十文字 発・移動
13：00	現場見学会 開始 <ul style="list-style-type: none"><li>○ 工事概要説明</li><li>○ 現場見学</li><li>○ 意見交換、質疑応答等</li></ul>
14：30	現場見学会 終了
14：40	成瀬ダム工事現場 発・移動
15：40	休憩（道の駅 十文字）
15：55	道の駅 十文字 発・移動
17：30	県庁着・解散 ※ 北上から乗車の方は途中えづりこ古墳公園にて解散

## 講習会・研修会・事例発表会（女性活躍推進講座）

### 目的

建設業界が性別に関わらず誰もが働きやすい業界となるために、アンコンシャス・バイアスについての理解を深め、ジェンダー・ギャップの解消につなげること。

### 日時

令和7年7月～8月（予定、調整中）

### 場所

盛岡市内会議室等

### 対象

県内建設企業経営者、従業員等

### 講師（予定）

一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所

### 内容（予定）

時間	内容
13：00	開会
13：05	講座（基本的知識を学ぶ） <ul style="list-style-type: none"><li>○ アンコンシャス・バイアスとは</li><li>○ 日常にあるアンコンシャス・バイアス等</li></ul>
14：05	ワークショップ、意見交換
15：35	まとめ
16：00	閉会



一般社団法人  
アンコンシャスバイアス研究所  
-Unconscious Bias Laboratory-

# 経営者等に対する女性が働きやすい職場環境整備への理解促進に向けた取組

## 情報発信

- ▶ 県内建設企業等に対する女性活躍推進に係る周知等を実施
- ▶ 建設業のイメージアップ等に向けて、県民に対しけんせつ小町部会等の取組等を情報発信

目的	経営者等に対する女性が働きやすい職場環境整備への理解促進に向け、けんせつ小町部会における取組内容の周知・報告や県主催の女性活躍関連施策の周知等を行うこと。	建設業の魅力発信、イメージアップに向け、けんせつ小町部会の取組内容や性別に関わらず誰もが働きやすい建設業をPRすること。
実施時期	令和7年6月（予定）から申込み開始 ※ある程度の登録があり次第、配信開始 ※通年（随時）配信	通年（随時）
対象	建設企業（経営者、従業員等）	県民 ※全世代（子どもから大人まで） ※建設業への従事の有無を問わず
方法	メールの配信	SNS（ <a href="#">県土整備部SNS</a> を活用）  Face book  X  Instagram
発信内容	①けんせつ小町部会活動報告 ②けんせつ小町部会イベント周知 (女性活躍推進講座、アンケート等) ③県の女性活躍関連施策の周知 ④県内企業の取組事例紹介 等	①けんせつ小町部会活動報告 ②建設業で働く女性のPR ③建設業の魅力PR ④県土整備部に係る取組のPR 等
その他	メールへの登録方法 ①メールまたはFAXによる申込み ②岩手県電子申請・届出システムによる申込み	別途、県土整備企画室にて建設業の女性活躍に関する情報発信を実施予定。 (女性活躍推進企業の紹介等)

# 経営者等に対する女性が働きやすい職場環境整備への理解促進に向けた取組

## アンケート調査（女性が働きやすい職場環境整備に関する取組状況調査）

### 目的

岩手県内企業における女性が働きやすい職場環境整備等の取組状況を把握し、けんせつ小町部会の活動の参考とするため。

### 調査期間

令和7年7月～

### 調査項目

カテゴリ	設問番号	設問	回答方法
基本事項（回答者の概要）	問1	性別	単一選択 ・男性 ・女性
		組織形態 ⇒ 会社従業員数 <b>NEW</b>	単一選択 ・1～4人 ・5～9人 ・10～19人 ・20～29人 ・30～49人 ・50～99人 ・100～299人 ・300人以上
		本店の所在地	単一選択 ・県央広域振興局圏 ・県南広域振興局圏 ・沿岸広域振興局圏 ・県北広域振興局圏
		業種分類	単一選択 ・土木工事業 ・建築工事業 ・設備工事業 ・職別工事業 ・土木建築サービス業 ・その他
		女性従業員数	単一選択 ・0人 ・1～5人 ・6～10人 ・11～15人 ・16～20人 ・21名以上

# 経営者等に対する女性が働きやすい職場環境整備への理解促進に向けた取組

## アンケート調査

### 調査項目（つづき）

カテゴリ	設問番号	設問	回答方法
女性が働きやすい職場環境整備の取組状況	問2-1	女性が働きやすい職場環境整備の取組状況について、回答してください。	単一選択 ・取組をはじめている ・特にしていない
	問2-2	貴社において実践している取組の内容に当てはまるものを回答してください。（問2-1で「取組をはじめている」と回答した人のみ）	複数選択 ・女性活躍認定企業等の認定を取得 ・ライフィイベントに応じた休暇制度の創出（育児休暇等） ・勤務時間の柔軟化（フレックスタイム、短時間勤務制度等） ・勤務場所の柔軟化（在宅勤務、テレワーク等） ・時間外労働の削減や週休2日制等の推進 ・再雇用制度の導入（結婚・出産・子育て・介護等への対応） ・女性活躍に関する意識啓発、就業意欲の向上の取組（研修機会の付与等） ・結婚・出産・育児にあたっての柔軟な配置転換などの取組 ・女性が快適な職場環境の整備（女性専用トイレ、更衣室、共有スペース等） ・女性職員による現場パトロールの実施 ・女性に配慮した装具や工具類の導入 ・その他
	問2-3	貴社において取組を行っていない理由や特殊な事情について回答してください。（問2-1で「特にしていない」と回答した人のみ）	複数選択 ・女性従業員がいない又は少ない ・経営者や上司等の理解がない又は少ない ・育児休業や短時間勤務制度等を取得する従業員をカバーする人的余裕がない ・女性従業員を雇用する予定がない ・アンコンシャス・バイアスがある ・わからない ・その他
	問2-4	取組をはじめる際の貴社の経営者の反応を教えてください。（問2-1で「取組をはじめている」と回答した人のみ）	単一選択 ・取組に対して好意的 ・取組に対して消極的 ・特に反応なし又はわからない
	問2-5	取組を行ったことによる貴社の経営者の意識変化について教えてください。（問2-1で「取組をはじめている」と回答した人のみ）	単一選択 ・変化があった ・変わらない ・わからない

# 経営者等に対する女性が働きやすい職場環境整備への理解促進に向けた取組

## アンケート調査

### 調査項目（つづき）

カテゴリ	設問番号	設問	回答方法
女性が働きやすい職場環境整備の取組状況	問2-6	貴社の経営者の意識変化について、具体的にどのような変化・行動が現れましたか。（問2-1で「取組をはじめている」と回答した人のみ）	複数選択 ・女性活躍推進企業等の認証・認定を受けた ・ワークライフバランスを意識した働きかけがあった（定時退社等） ・休暇を取得しやすくなった ・社内規定が見直された ・女性従業員が採用された ・その他
	問2-7	取組に対する周囲の従業員の反応について教えてください。（問2-1で「取組をはじめている」と回答した人のみ）	単一選択 ・取組に対して好意的 ・取組に対して消極的 ・特になし又はわからない
	問2-8	建設業が性別に関係なく、誰もが働きやすい業界となるために必要な取組、改善すべきことを回答してください。	複数選択 ・経営者の意識改革（経営者自身の性別による差別をなくす、積極的な職場環境改善等） ・待遇改善（性別による給与や業務内容の違いをなくす等） ・労働環境改善（ライフイベントに応じた休暇制度の創出、週休2日工事等） ・就業規則等の改正（柔軟な配置転換、フレックスタイム制等の勤務時間の柔軟化） ・環境整備（女性に配慮した設備（トイレ、更衣室、装具等）の整備等） ・従業員の意識改革（性別による差別、無意識の思い込みをなくす） ・建設業のイメージアップ（新3K、建設業のイメージアップに係るPR等） ・女性視点の環境改善の取組（女性職員による現場パトロール等） ・その他
	問2-9	社内における取組の推進に向けて、自社に対して改善して欲しい事項等があれば記載してください。	自由記載
女性活躍推進講座	問3	今後の講座開催の参考のため、受講を希望するテーマについて回答してください。	複数選択 ・働き方改革（働きやすい職場環境づくりのコツ、ポイント等） ・デジタル技術による生産性向上（社内DX推進のコツ、ICT技術体験等） ・技術向上（重機等の操作、資格取得講習等） ・女性のキャリア形成 ・女性管理職養成講座（コーチング・マネジメント等） ・コミュニケーションスキル研修 ・ハラスメント防止研修 ・女性活躍に向けた取組事例等の事例紹介 ・その他
県に対する要望	問4	女性活躍の推進にあたり、県に対するご意見・ご要望がありましたら記載してください。	自由記載

# 建設業の魅力発信に向けた取組

## いわて建設業みらいフォーラム

### 目的

社会基盤の復興や整備、日常の維持修繕を通じて、県民の安全で安心な暮らしに果たす建設業の役割やその魅力を積極的に発信することで、建設業のイメージアップを図り、次世代を担う若者をはじめてとして、県民の建設業への理解を高めること。

### 日時

令和7年10月30日（木）

### 場所

アイーナ（いわて県民情報交流センター）7階 アイーナホール

### 取組内容

ブース展示対応

- ▶ 部会の取組や女性職員の活躍状況の紹介
- ▶ 参加生徒からの建設業に関する様々な疑問に対する相談対応



▲令和6年度いわて建設業みらいフォーラム

## 工業高校生との意見交換会

### 目的

土木や建築等を学ぶ工業高校生と岩手県の建設業を担う経営者や技術者との意見交換会により、高校生に対し仕事内容や社会における建設業の役割等を紹介し、若年者の建設業への理解及び入職促進を図ること。

### 開催時期

令和8年1月～2月

### 場所

岩手県立盛岡工業高等学校

### 対象

岩手県立盛岡工業高等学校 1～2年生

※ 実施対象学科・学年は学校と相談し決定する。

### 内容

#### ① グループ討議

- ▶ グループごとにテーマに沿って意見交換を行う。
- ▶ テーマ（予定）
  - ・ 入学前後での建設業に対するイメージの変化
  - ・ 質疑応答

#### ② グループ別生徒発表

- ▶ グループ討議における意見等の全体共有
- ▶ グループ討議を踏まえた就職に向けた自覚や希望、夢、業界に向けた要望に係る発表

### 備考

東北地方整備局岩手河川国道事務所によるDX体験学習会が同日開催される可能性があること。

# 令和7年度 建設DX推進事業費補助金

資料2

- 県内建設業において、働き方改革とともに現場の効率化や安全性について一層の向上を図るとともに、デジタル技術の導入により建設DXを推進するため、建設DX人材育成支援事業、生産性向上事業又は建設バックオフィスDX推進事業を行う場合に要する経費の一部を補助

【募集期間】 令和7年5月12日（月）～**令和7年7月4日（金）** ※12:00申請書必着

## 建設DX人材育成支援事業

デジタル技術を活用できる人材を育成しようとする建設業関係の法人に対し、要する経費の一部を補助

補助対象経費	補助内容	補助事業者	補助額（上限額）
ICT建機等の操作研修会やデジタル技術の習得に係る講習会等の開催に要する経費	謝金、旅費、会議費	法人	50万円

## 生産性向上事業（ICT機器導入経費の補助）

現場の生産性向上に向けてICT機器を導入する企業に対し、ICT活用工事の実施につながり、建設現場における生産性向上に資する機器導入に要する経費の一部を補助

事業内容	補助対象機器	補助事業者	補助額（上限額）
(1) 既存の建設機械へICTを搭載（後付け）（2D・3D）	MCシステム、MGシステム 等	建設業者等	200万円 (当該経費の2分の1以内)
(2) 3D測量機器	3Dレーザースキャナー、自動追尾型トータルステーション、UAV（ドローン）、GNSS受信機 等	建設業者等	150万円 (当該経費の2分の1以内)
(3) 3次元設計ソフトウェア	設計ソフトウェア 等 ※ソフトウェアの使用料（初年度のみ）も補助対象	建設業者等、建設コンサルタント	150万円 (当該経費の2分の1以内)
(4) その他生産性の向上に資する機器等	遠隔臨場システム導入に要する機器、パワーアシストスーツ、VR/ARシステム、3次元配筋検査ツール	建設業者等、建設コンサルタント	30万円 (当該経費の2分の1以内)

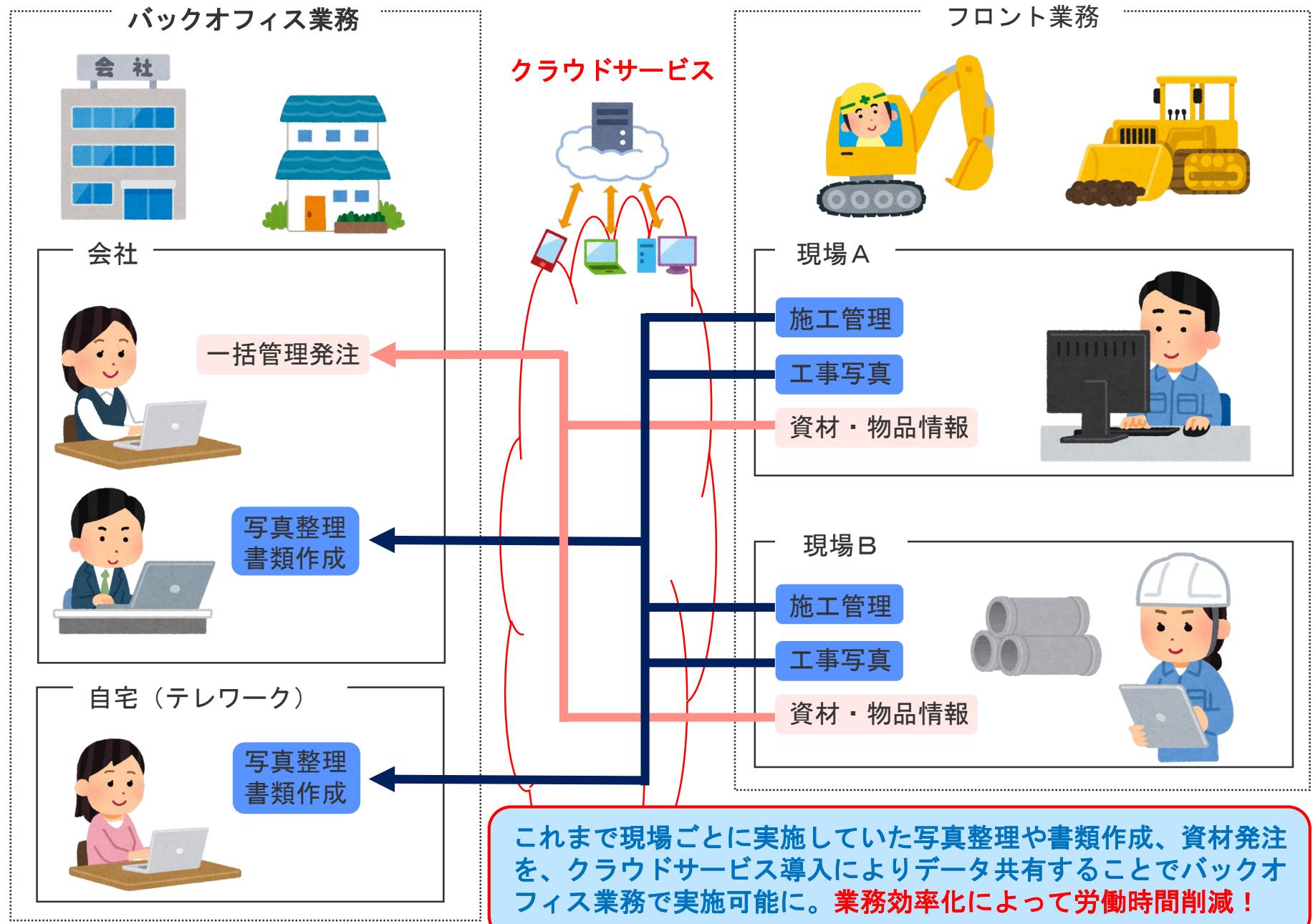
## 建設バックオフィスDX推進事業

建設業の働き方改革及び生産性の向上を図るため、デジタル技術の導入によりバックオフィス業務のDX推進に要する経費の一部を補助

補助対象経費	補助対象の条件（①②③の全てを満たす）	補助事業者	補助額（上限額）
システム導入の初期費用、システム開発費、使用料（初年度のみ）	① デジタル技術の活用を手段として労働時間削減（業務効率化）を図るもの ② 特定業務占用のソフトウェアの導入にとどまるものでないこと ③ バックオフィス業務に関連する活用方法であること	建設業者等	50万円 (当該経費の2分の1以内)

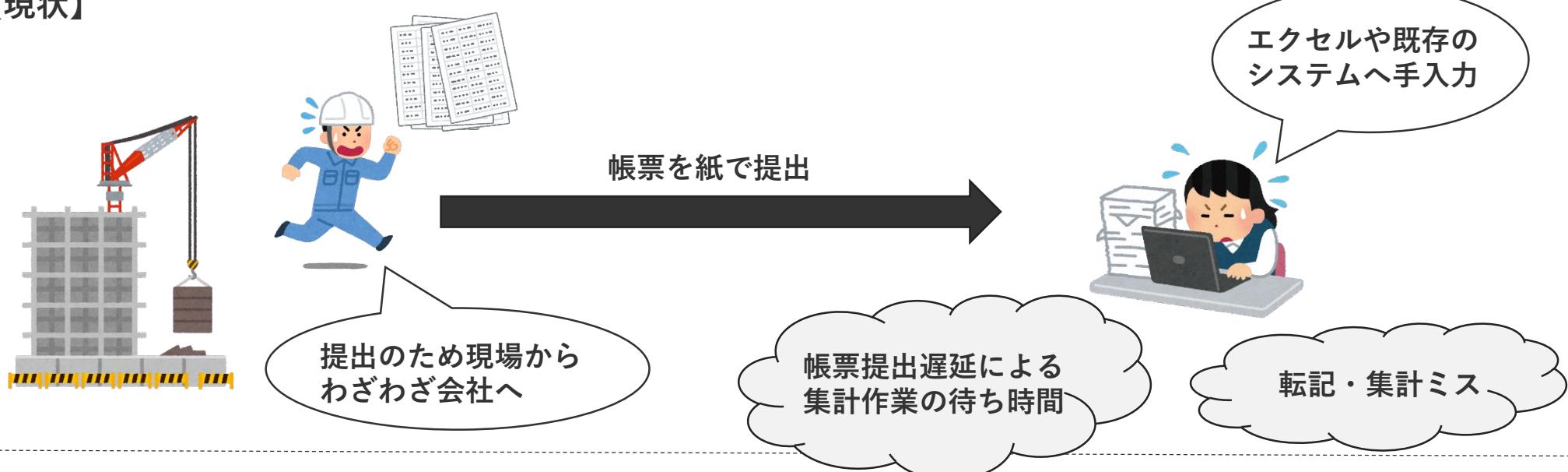
過去に補助採択された企業の活用事例集を作成しました！他企業の取組を参考にぜひご活用ください！

# 事業例①【参考】クラウドサービスを活用したデータ共有

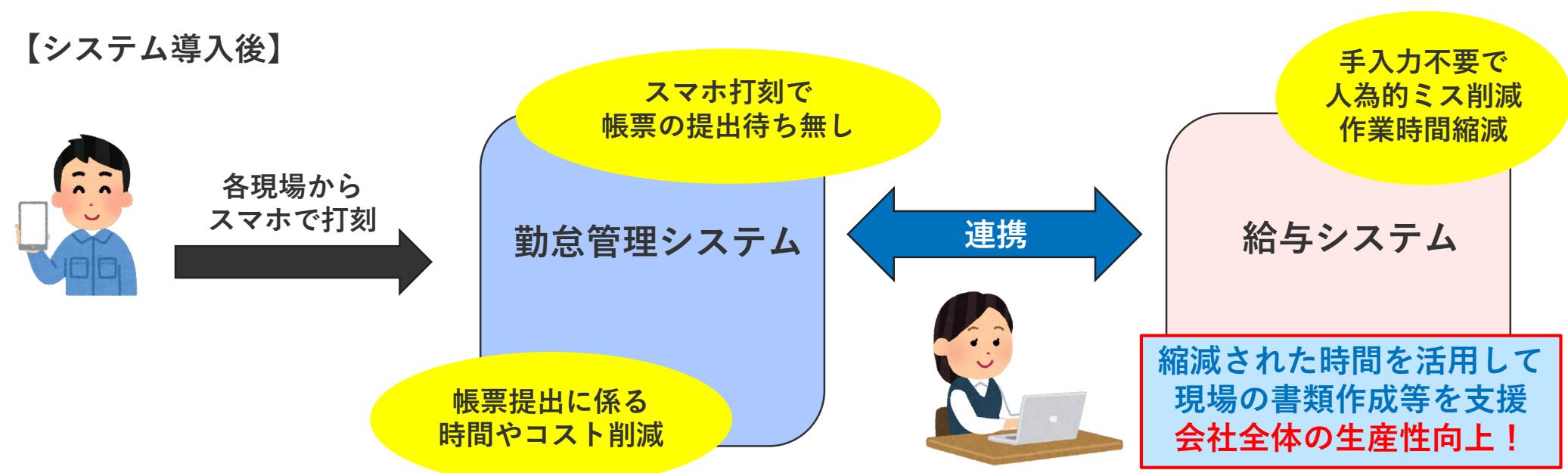


## 事業例②【株式会社水清建設の採択事例(R5)】勤怠管理システムの導入+既存の給与システムとの連携

### 【現状】

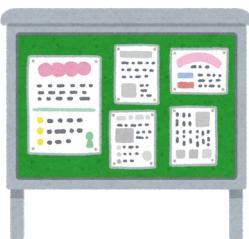
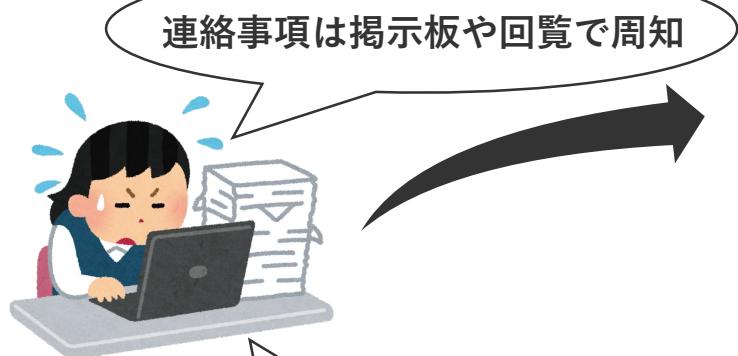


### 【システム導入後】



## 事業例③【日興電気株の採択事例(R6)】現場従業員管理システムによる情報伝達・共有の効率化

### 【現状】



全社員が把握しているか不確定  
周知に時間がかかる



給与明細の印刷と封入、配付に  
時間と手間がかかる

### 【システム導入後】



連絡事項を  
速やかに伝達！  
未読・既読判別機能で  
伝達漏れの削減！



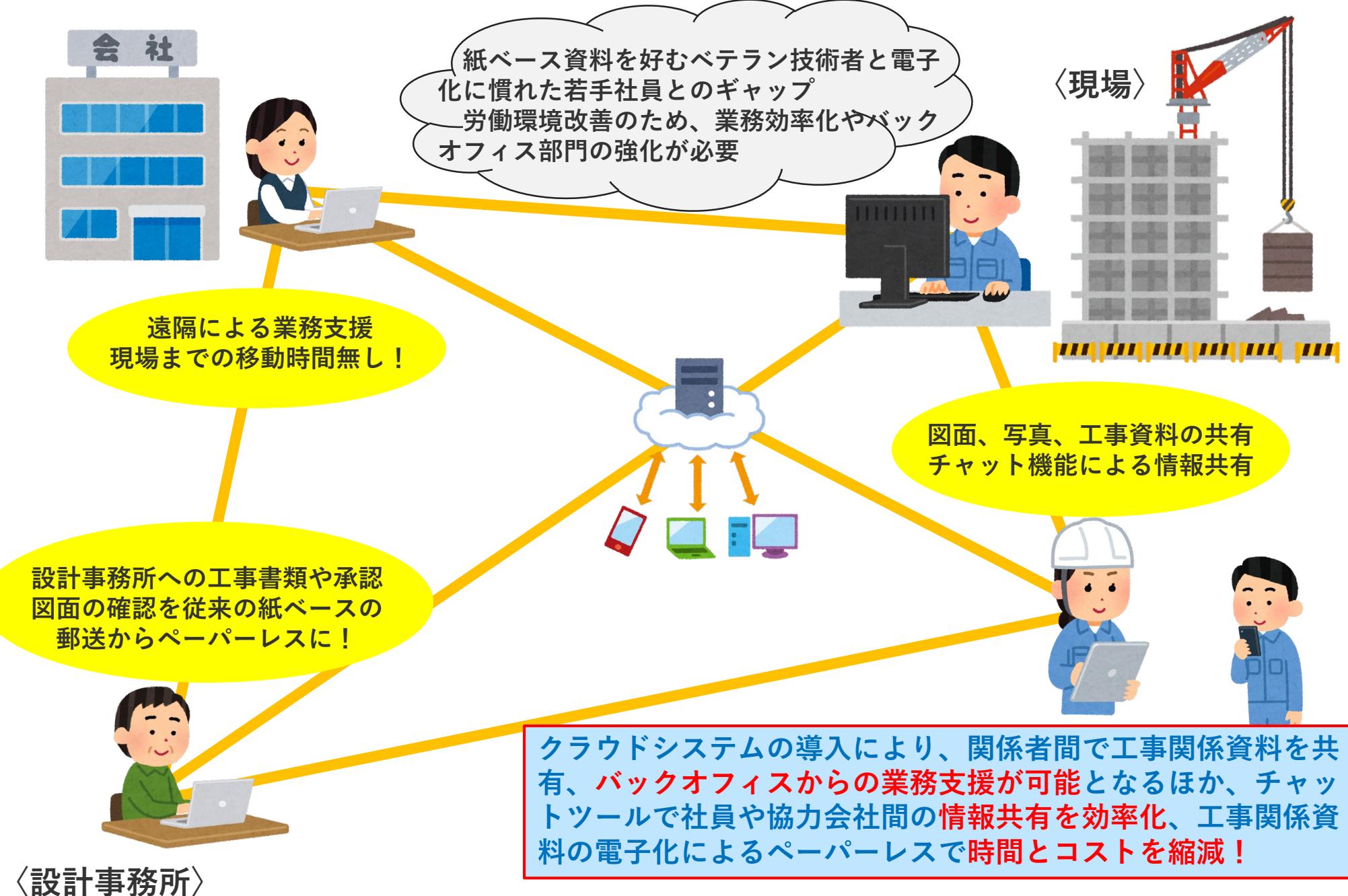
チャット機能で  
情報共有やコミュニ  
ケーションが  
スムーズに！



電子化で印刷・封入  
・配付の手間が半日  
から30分に削減！

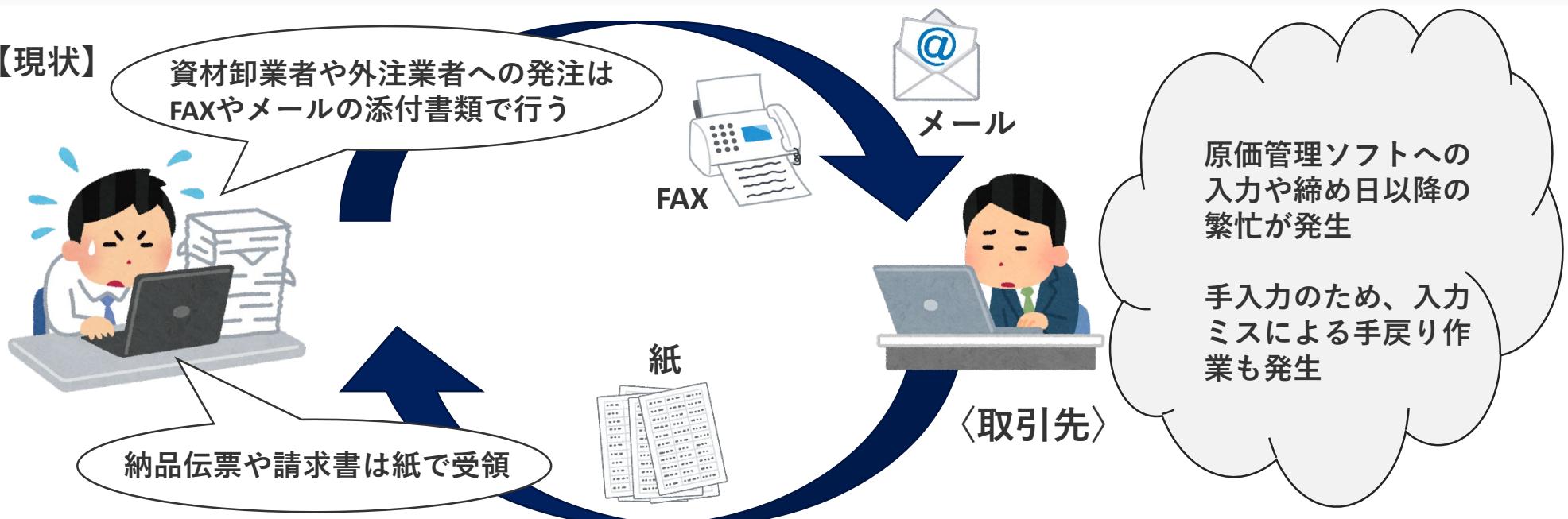
情報伝達・共有の効率化  
とペーパーレス化で  
労働時間＆コスト削減！

## 事業例④【株）佐々木組の採択事例(R6)】施工管理アプリ導入による現場書類管理業務の効率化

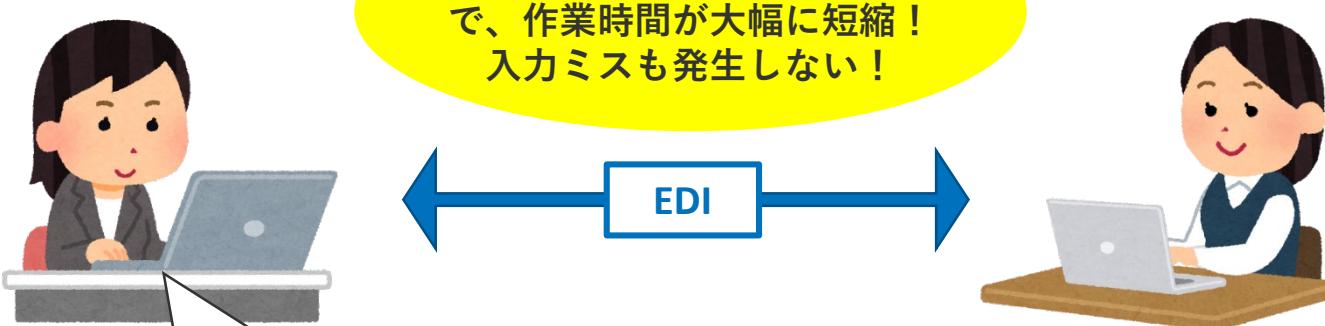


## 事業例⑤【協栄電工(株)の採択事例(R6)】電子商取引(EDI)による取引業務の効率化

### 【現状】



### 【システム導入後】



電子受発注システムを使用し、発注から請求まで一貫してデジタルデータを利用

EDI : Electronic Data Interchange

「電子データ交換」のことで、異なる企業間でやり取りされる注文書や請求書などの伝票類をインターネットを使用して、データにより送受信すること。

# 令和7年度 建設業経営力強化支援事業費補助金

- 県内の建設業を営む企業の経営革新を促進し、建設業の安定的な経営環境の確立と生産性の向上を図るとともに、県内地域経済の進行と雇用の安定を確保するため、建設業者等が新分野進出及び新技術開発等事業又は建設技術等販路開拓支援事業を行う場合に要する経費の一部を補助

【募集期間】 令和7年5月12日（月）～**令和7年7月4日（金）** ※12:00申請書必着

## 新分野進出及び新技術開発等事業

建設業以外の事業への進出や業種転換、建設業の事業における新技術・新工法の開発又は導入、新製品の開発及び新たな市場の開拓に要する経費の一部を補助

事業の内容	補助対象経費	補助事業者	補助額（上限額）
製品・技術・サービスの研究開発事業	謝金、旅費、開発事業費等	建設業者等	100万円 (当該経費の2分の1以内)
販路開拓事業	謝金、旅費、販路開拓費等		
人材養成事業	謝金、旅費、会議費等		

※ 上記に記載の補助対象経費は一部ですので、詳細は県ホームページに掲載の募集要項をご参照ください。

## 建設技術等販路開拓支援事業

建設業者の方々が有する製品・技術・サービスについて、県外へ新たな販路開拓を行うために必要な経費の一部を補助

補助対象経費	経費区分	補助事業者	補助額（上限額）
県外での製品・技術・サービスの販路開拓に要する右欄に定める経費	旅費、販路開拓費	建設業者等	50万円 (当該経費の2分の1以内)

各補助事業の「募集要項」のほか、手続きの流れや各種条件、Q&Aなど最新情報を県HPに掲載しておりますので、ご確認ください！  
自社で導入を予定している機器が対象かどうか…等、申請にあたって迷うものがあれば下記担当までご相談ください！

【岩手県HP】 [トップページ > 県土づくり > 建設業 > 新技術・経営革新 > 令和7年度「建設業経営力強化支援事業費補助金」及び「建設DX推進事業費補助金」の概要について](https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/shingijutsu/1064742.html)  
<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/shingijutsu/1064742.html>

